

令和8年5月1日発行

INDEX

- 校長挨拶
- 入学式を終えて
- 5. 6. 7月の行事予定

# ぜんしん



『おまえのものは、おれのもの』～物事の真実と相手意識～

校長 奥田 雅紀

「おまえのものは、おれのもの。おれのものは、おれのもの」  
これはドラえもんの登場人物、ジャイアンのだいごです。

暴力的で利己的で、独占主義なジャイアンらしさの象徴として有名なセリフです。  
大半の人が、強引に相手の物を奪い「お前のモノは俺のモノ」といっているジャイアンの姿を思い浮かべたのではないのでしょうか？私も、そのように捉えていました

しかし、実は違うエピソードもあるのです。

迷子になったのび太くんが疲れ果てランドセルを置き、それが、走っているトラックの荷台に乗ってしまふ…。雨が降ったり、犬に吠えられたりしながら、必死にランドセルを探すのび太…。しかしいっこうに、ランドセルは見つからない…。

この後、ジャイアンは必死になってランドセルを探し、トラックに乗ったのび太のランドセルを発見する。  
ジャイアンは「俺に任せろ！」と言い、必死に走ってトラックに追いつき、落ちてくるランドセルをジャンピングキャッチ

そして、のび太が言う「ジャイアンありがとう！」  
ジャイアン「当たり前だろう！だって…」「お前のモノは俺のモノ、俺のモノも俺のモノだ！」

きっとジャイアンは「おまえがなくしたものでも、オレがなくしたものだと思って探すよ。だって、おまえの苦しみはオレの苦しみ。おまえの痛みはオレの痛みなんだ。」と言いたかったのではないのでしょうか。

この話から、私は二つのことを感じました。

一つ目は「ストーリーや言葉の一部だけを切り取ると、真意がゆがんでしまう」と言うことです。誰もが耳にしたことのある「お前のものは…」のフレーズだけが着目され、結果、物語の真実が消えてしまったのです。

物事は全体の脈略を把握した上で判断しなければいけないと感じました。

二つ目は「ジャイアンのように、いざというときには相手の立場に立って考え・行動できる人でありたい」と思いました。

令和8年度、旭川高等支援学校の生徒一人一人が「物事の真実を見つめる目」と「相手意識をもって行動」を意識できる一年にしていきたいと思っておりますので、ご協力・ご理解を、よろしくお願いいたします。

